



T h e e n d
f o r
i n t e r a c t i v e

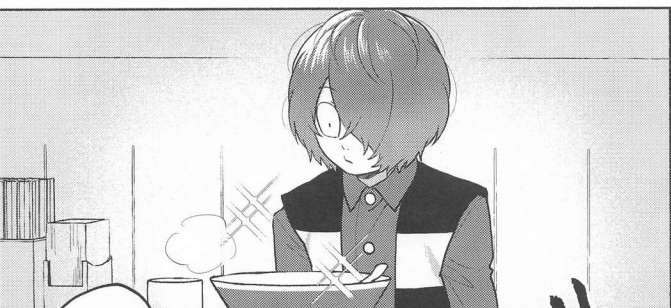
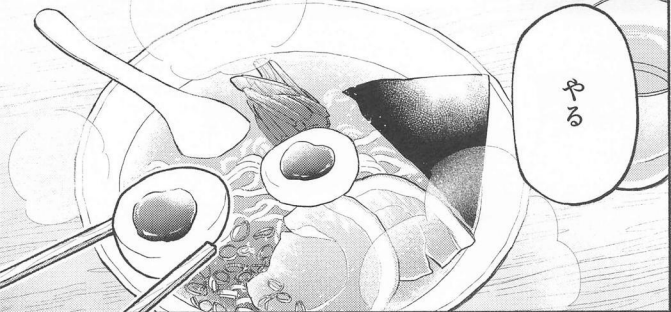
KITARDU + MIZUKI

末 理
路 想
の

GEGEGE no nazo
unofficial fanbook

2025.3.30

adult only

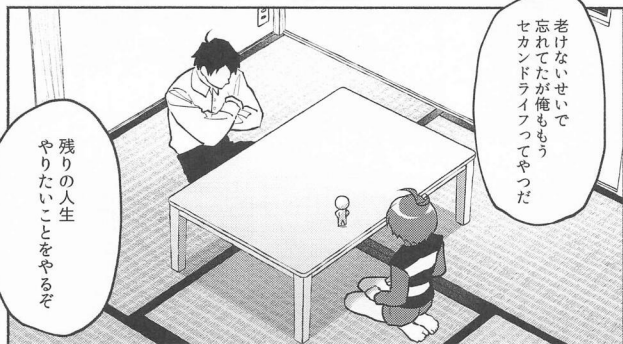
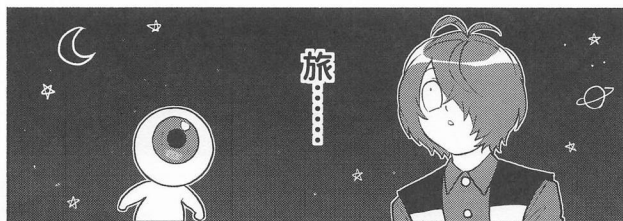


いい食べっぷり
ですね

ん？

理想の
末路





登別か？
別府か？

わしも
同行する



お前の行きてえところ
じゃねえんだよ

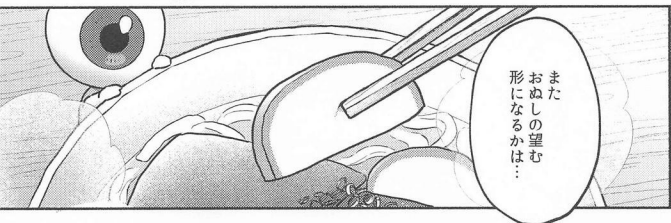
死ぬ方法を
探しに行く

水木さん！

水木…

できることなら

人間として
死にたい





たとえば
八尾比丘尼

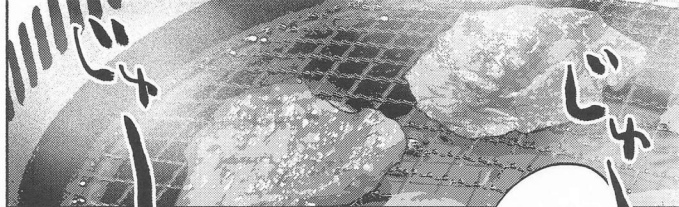
人魚の肉を
食ってしまった
ために死ぬず

周りの人間を
見送りながら

八百年
生きたと言われる

そこまでは
行きたくねえなあ……

観光スポット
MAP



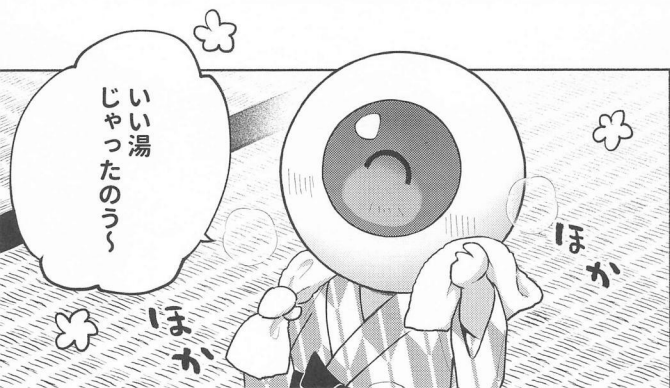
人魚の生き胆を
食えば人の身に
戻れるともいう

食いながらする
話じゃねえよ



失楽園にせよ
黄泉比良坂にせよ

食うというのは
人間の根源的な禁忌よ





水木さん



どっちもか

水木さん



鬼太郎
どっちがいい

水木さん

フーキーが
フルーツがミ



もうひとつ風呂
してくるかのう

ふーい

あい分かった

父さん





まだ大丈夫だろ
全然元気で…

駄目です



ん、



あるとき気付いたら

養父は
肉塊になっていた



お義父さん？

老いない
死なない

それでも死ねない

五感も痛覚も
生きたままの地獄

命が変質しても
器の方が持たなかった
のだろう



崩れん程度に
お前の妖力で
固めておくことだ

次の方



人間だった養父は
いつしかこちら側へ
近付いていた

妖力さえあれば数日
飲まず食わずでも
困らない



僕はこの人が
生きてくれさえすれば
なんだっていい









うゝッ…

だって
泣くから…



う

ぼろ…



初めて養父を
抱いたとき

僕は彼の涙を
初めて見た



きたろ、

僕の前ではそうあろうと
してくれていたんだと
分かって



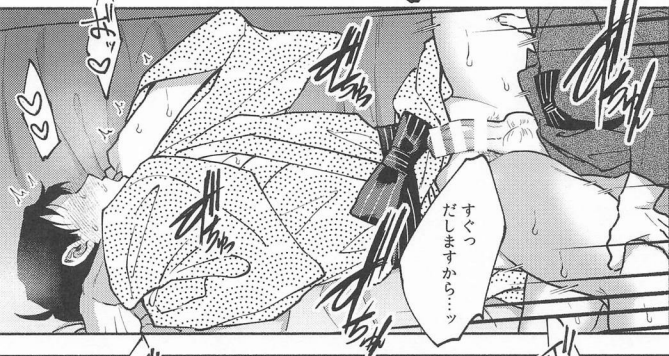
僕にとって養父は
大人の象徴だった

鬼太郎

















ツやく、

はやく

はやくっ
きたろ…ツもお…♡

どほっ

ふふふふ

てる…シ

あ♡♡♡

おっ

あ♡♡♡





いい感じだ

水木さんから
僕の妖力を感じる

なのに

ずり
んッ

鬼太郎…？

この身体が
この皮膚が

この人とを隔てるのが
もどかしい

もうぜんぶ
僕のものに
してしまえたら

……
ふっ





まだあまり実感が
わかんじやろう

あんだけ人殺しといてな
ようやく実感するのは

てめえ
手前の親が
死んだときだよ

妖怪にとって死とは
隣人のようでありながら
遠い存在

ま
人間も同じか

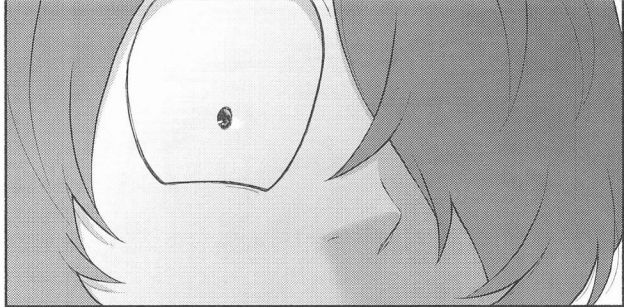
うん？





最後に
父親らしいことを
させてくれよ





まうた
無駄足かよ
クソツ!

パ
キ
ッ



普通に満腹するな
お前は!

腹立ッ!

今回も
いい湯じゃったわ



夕飯は
何にするかなー

もぐ

もぐ

こやつ食べながら
食べることを
考える……

水木さんの
考えることも

肉か

人間も妖怪も
生きるも死ぬも
僕にはよく分からない

魚か

ただ

鬼太郎



まあいいか

そろそろいつもの
布団で寝たい

僕は水木さんの
ホットケーキが
食べたいです

おっじゃあ
帰ったらやるか

この旅が一生

永遠に

わしも久々の
家風呂じゃ！

ぼちぼち再就職^{かせい}して
こねえとな

終わら
なければいい

※この本は個人的に作られたファンブックです
原作・出版・その他関係者様とは関係ありません

※無断転載、複製複写、WEB上へのアップロード
ネットオークション及びフリマアプリへの出品ほか無断使用の一切を禁じます

※REPOST IS PROHIBITED

いつか感情に名前を
付けられないでいる (元々)
良

理想の末路

2025/03/30

invitro/ニノマエ

@tkkrnm

tkkrnm.fic@gmail.com

printed by 栄光

designed by ゆ流(@_yryuru)



無断転載・複製・描写・ネットオークション・
Web上へのアップロード禁止 フリマアプリでの転売禁止

感想もらえると
メィィ4ゃよろこぶ



理想
の
路

The end for ideals

KITAROU × MIZUKI



presented by ニノマエ

invitro